

6月は『土砂災害防止月間』

June is "Sediment Disaster Prevention Month"

これから梅雨に入り、雨の多い季節になります。がけ崩れ・地すべり・土石流などの土砂災害は、雨がきっかけとなって発生します。土砂災害のことをよく知り、災害に備えて大切な命を守りましょう。



土砂災害の特徴と前兆現象

土砂災害が発生するときには、「前兆現象」が起こることがあります。次のような前兆現象に気付いたときには、役場やまわりの人に連絡し、いち早く安全な場所へ避難をしてください。

がけ崩れ



特徴

急な斜面が雨水の浸透や地震などによって緩み、突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、崩れ落ちるスピードも速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れによる死者の割合も多くなります。

主な前兆現象



- がけから小石がパラパラ落ちてくる
- がけから急に水が湧き出る
- がけの上の木が揺れたり、傾いたりする
- 地鳴りがする

地すべり



特徴

ゆるやかな斜面に雨水などが地面にしみ込み、その影響で広い範囲がゆっくりと動き出す現象です。

主な前兆現象



- 池の水や井戸水が濁る
- がけや斜面から水が噴き出る
- 地面にひび割れや段差ができる

土石流



特徴

長雨や集中豪雨などによって、山や谷（渓流）の土砂が一気に下流へ流れ下る現象です。時速40〜50キロのスピードで家や道路などを破壊します。

主な前兆現象



- 山全体がうなったような音がしたり、地震のように震えたり、異常なおいがする
- 雨が降り続けているのに川の水が減る
- 川の水が濁り、水と一緒に倒れた木が流れてくる
- 山鳴りがする



土砂災害から身を守るために

土砂災害は予測の難しい災害ですが、土砂災害から身を守るために必要な3つのことについてお知らせします。

1 台風や大雨に備えて



① 住んでいる場所が土砂災害警戒区域か確認する。

越前町のホームページ (<http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/index.jsp>)に土砂災害ハザードマップが掲載されています。土砂災害ハザードマップとは、大雨などにより土砂災害が発生する恐れのある危険箇所や避難所を地図上に示したもので、平時は防災意識の啓発に、災害時は避難などに役立つためのものです。

2 雨が降り始めたら



② 土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。福井県砂防防災課ホームページの福井県 河川・砂防総合情報 (<http://ame.pref.fukui.jp/>) から確認できます。気象情報はテレビのデータ放送やケーブルテレビを活用しましょう。

3 豪雨になる前に



③ 早めの避難を心掛ける。

がけ下や渓流沿いなどに住んでいる人は、大雨や土砂災害警戒情報が発表されたときには、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。また、豪雨などで避難所への避難が困難な時は、近くの頑丈な建物の二階以上に避難したり、さらに困難な際は、家の二階など少しでも安全な場所に移動しましょう。

自然災害に対しては日頃からの備えがとても重要です。いざという時のために自宅周辺の危険箇所や避難施設の位置を確認し、家族で避難時の行動や連絡先を話し合っておくなど、日頃からの備えをしておきましょう。

イラスト資料提供：NPO 法人土砂災害防止広報センター